

# 御倉邸 (おくらてい)

中心市街地南部は江戸時代から阿武隈川を利用し「舟運」が盛んにおこなわれ、福島市の経済発展に重要な役割を果たしていました。  
現在の黒庁裏周辺には、人や荷物の揚げ下ろしをする所「河岸」が設けられ、城主蔵、御城米御蔵はもとろん、会津藩、上杉弾正大崎様御蔵(米沢藩)などの廻米御蔵が川面に添い、建ち並んでいました。  
明治三十二年、東北初の日本銀行出張所(福島支店の前身)が開設され、東北と福島の経済に大きな役割を果たしてきました。  
昭和二年には、純和風建築の旧日本銀行福島支店長役宅が建てられました。  
木造平屋建て、寄棟、瓦葺きの建物で、阿武隈川を借景にした日本庭園と中庭を取り囲むように各部屋が配置されており、畳廊下や手づくりガラスなど昔ながらの懐かしい雰囲気を今に残しています。  
福島市は平成十二年に旧役宅を取得しました。  
建物は名称を「御倉邸」としてそのまま残り、御倉町地区公園として開放しています。  
阿武隈川を背景とした日本庭園の美しい景観が見どころの御倉邸。  
平成二十三年には旧米沢藩の米蔵が復原され、ここに魅力が増しました。



琴の演奏会



お茶会の様子



洋室1号室



和室2号室



和室3号室



和室4号室



和室5号室



和室6号室

■駐車場あります。